



吉原美智恵 議員

支えあい活動の推進は

町長

自主組織などと連携していく



いつまでもお元気で

【吉原】近年、少子高齢化や生活の変化に伴い、高齢者や障がいのある人、医療、介護を受ける世帯が増えている。

このような人たちへの地域での支えあい活動の推進は。

【町長】住み慣れた地域で安心して暮らすことは重要であり、制度の見直しなどを含め、自主組織などと連携をしていく方向で進める。

【吉原】協働の地域づくりという点で、米子

市で地域包括支援センターと支えあいフェスが協力して運営している事例も出てきている。

また、他の自治体では、支え合い活動条例を制定して、個人情報保護の取り扱いの例外をつくり、防災や見守り活動、支え合い活動を活発に行っている事例もある。

研究して取り組んでいます。

【町長】高齢者の人や支え合いの必要な人たちの声を聞きながらしっかりと取り組む。

「英語村」の開設は

教育長

検討し取り組みを進める

【吉原】本町の教育は高い水準を保っており、実績は認められる。近頃、小さな自治体

が特色ある教育を前面に出し、移住者が増加しているところもある。さらなる教育施策は。また、子どもから大人まで学び体験できる英語村の開設は。

【教育長】学校、保育現場の努力、地域の協力により確実に成果が出ている。これまでの取り組みの点検、改善をしていく。

英語村の取り組みは事例を参考にし取り組んでみたい。

【吉原】本町の教育は素晴らしいので、発信力を強めて行っては。英語村は、町民全体が



英語も得意になりたいな (大山カレッジ)

対象で、英語ができない人は赤ちゃんとしてスタートする。

少しでもできる人は幼児というように、村人になった人が苦手意識を

なくし、町全体で楽しく英語力を身につけられると思うが、どうか。

【教育長】環境を整え、学ぶ機会を提供したい。